

新普通科系高等学校「桜和高等学校」の設置について

2021年1月27日

概要

大阪市教育委員会では、南高校、西高校、扇町総合高校を再編整備し、令和4年4月、現扇町総合高校校地において新しい普通科系高等学校「桜和（おうわ）高等学校」を開校します。なお、令和4年度は、3校の2年生・3年生と桜和高校の1年生がともに高校生活を送ります。

※君たちの2022年度（令和4年度）入学者選抜では、南の英語探究科 西の教育情報科 扇町の総合学科の募集はありません。

設置理念

- ①高い志を持ち、様々な立場で教育に取り組む人材の育成
- ②「チーム学校」を支える教育コミュニティの醸成
 - ・桜和高校では、高い志を持ち自立への基礎となる能力を身につけ、自分を信じ挑戦し続ける力を育てます。
 - ・桜和高校での学びをさらに深めるため大学に進み、学校教員・幼稚園教員・保育士といった教育関係の職業に就く人や、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等教育活動を支援できる人を育てます。
 - ・桜和高校では、教員や専門スタッフが協力し合って働くことに加え、大学や企業、家庭、地域の人達と連携して教育活動に取り組み、人とのつながりを大切にする学校づくり・地域づくりを進めます。

校名について

校名については、令和元年10月1日から11月30日までの期間、広く校名案を募集（令和元年9月25日報道発表）したところ、342件のご応募をいただき、教育委員会で決定したものであり、市会における関係条例の決議（令和2年5月）を経て、正式決定となりました。

言葉の綺麗な響きとともに、校地の近傍にある大川の桜並木の「桜」と令和の「和」ならびにチーム学校の和を想起させ、「教育コミュニティの醸成」という新普通科系高等学校の設置理念と合致し校名にふさわしいことから、桜和高等学校と決定しました。

学科・コース（学科・コース名は仮称）

教育文理学科 [6学級 240名]

豊かな人間性と、多文化共生社会において求められる高いコミュニケーション能力、これからの時代に求められる情報活用能力や課題解決能力を身につけます。

その能力を活かし、様々な立場で教育に関わることで教育界をはじめ社会をリードし、次世代の大阪を担う人材を育成します。

コース

【国際文化コース】

国際的な視野と豊かな教養を身につけ、グローバルな視点から様々な課題に対応できる人材を育成します。人文科学・社会科学分野等をめざす人に適しています。

【教職教育コース】

人間力を高め、教育に関する専門知識を身につけ、将来、教育現場において即戦力として活躍できる人材を育成します。学校教員をはじめ、幼稚園教員や保育士等をめざす人に適しています。

【理数情報コース】

自然科学・情報に関する専門知識を身につけ、研究的な視点から様々な課題に対応できる人材を育成します。理工学・医療系等をめざす人に適しています。

校章・エンブレムについて

校章・エンブレムは、デザインを大阪市立デザイン教育研究所に依頼し、学生から応募された作品から決定しました。

校章のコンセプト

桜の花びらは万年筆の形をモチーフとし、人と人との繋がりを表現しています。花びらの一つを異なる色としているのは、生徒が互いに高め合いながら成長し、将来、教育に携わる人材や社会をリードする人材になる、という意味が込められています。万年筆を上向きにすることで向上心を表し、橋を表した下部には、今いる場所にとどまらず、高い志を抱き、自らが新たな世界への橋を築き、未来を切り拓く存在になってほしいという思いが込められています。



大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校からPTA保護者対象の学校説明会案内が届いています。
 各校5名まで（コロナ対応の為）
 6月23日（水）13:30~15:00
 受付13:00~
 個別相談15:00~

申し込みは高木まで（前日までに）